別紙４

厚生労働行政推進調査事業費補助金
（医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス政策研究事業）
分担研究報告書

科学的エビデンス等に基づき医療環境に応じた適切な輸血療法実施についての研究

「輸血副作用対応ガイドラインの作成」

研究分担者　岡崎　仁　日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所　副所長

研究要旨

2019 年に学会より発出した、我が国初めてのエビデンスにもとづく「輸血有害事象対応ガイドライン」をその後の新たなエビデンスにもとづき改訂作業を行い、「科学的根拠に基づいた輸血有害事象対応ガイドライン（改訂第 2 版）」が、論文として日本輸血細胞治療学会誌 第 71 巻 第 3 号に掲載された。また、本研究班の目的である「輸血療法実践ガイド」作成における「輸血副反応とその対策」の項の分担執筆を行った。

A．研究目的

2019年に学会より発出した、我が国初めてのエビデンスにもとづく「輸血有害事象対応ガイドライン」をその後の新たなエビデンスにもとづき改訂作業を行い、「科学的根拠に基づいた輸血有害事象対応ガイドライン（改訂第 2 版）」を作成すること及び、本研究班の目的である「輸血療法実践ガイド」作成における「輸血副反応とその対策」の項の執筆を担当すること。

B．研究方法

「科学的根拠に基づいた輸血有害事象対応ガイドライン（改訂第 2 版）」に基づき「輸血療法実践ガイド」作成における「輸血副反応とその対策」の項の分担執筆を行い、作成に寄与した。

（倫理面への配慮）

特になし

C．研究結果

改訂版ガイドラインに沿って、「輸血療法実践ガイド」の輸血副反応とその対策の項を分担執筆した。改訂版ガイドラインで検討していない副反応についても記述を行い、利用しやすい実践ガイドになるように努めた。

D．考察

エビデンスに基づくガイドラインの改訂を終え、輸血療法実践ガイドの学会誌への掲載も決まり、適正な輸血療法の実践に資することができた。

E．結論

今後の5年後くらいを目途に再改訂の準備を進めていきたいと考えている。

F．研究発表

1．論文発表

1. 岡崎　仁　他:科学的根拠に基づいた輸血有害事象対応ガイドライン（改訂第２版）：日本輸血細胞治療学会誌71(3):512-522, 2025

2．学会発表

1. 岡崎　仁：TRALI及びTACOについて　科学的根拠に基づいた輸血有害事象対応ガイドライン（改訂第2版）の解説も含めて　第49回日本血液事業学会総会　教育講演　10月28日　さいたま市　2025
2. 岡崎　仁:輸血副反応(TRALI/TACO)の最新知見と改訂第2版輸血有害事象対応ガイドライン：東京都輸血療法研究会　基調講演　11月28日　東京　2025

G．知的財産権の出願・登録状況

1．特許取得

無し

2．実用新案登録

無し

3．その他

無し